

舞踊作家協会 ティアラこうとう連続公演No.214
2021年2月14日(日) 開演16:00(開場15:30)
ティアラこうとう小ホール
一般¥3,000- 友の会¥2,700-(全席自由)

芸術監督 森 嘉子
雑賀淑子

バレンタイン スペシャル・コンサート

春の足音が~~~~
チョコレートもいいけど
愛にあふれた音楽とダンスを
味わって頂くのはいかがでしょう~~~~

第1部〔春の宴〕

演奏：友吉鶴心 舞：西川古柳、サイガバレエ

第2部〔愛の時間〕

ピアノ：櫻木枝里子 ダンス：舞踊作家協会員、他

～ドビッシィのピアノ曲で様々な愛を踊る～



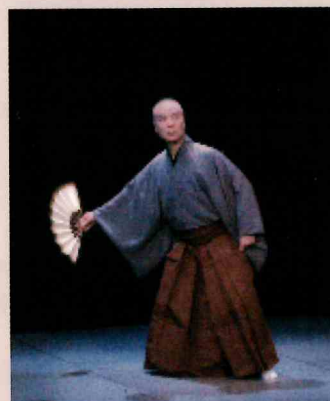
西川古柳(八王子車人形)



友吉鶴心(琵琶)



櫻木枝里子(ピアノ)



尾上墨雪



森嘉子



工藤史皓



玉田弘子

作・舞 森嘉子 玉田弘子 工藤史皓 尾上墨雪

舞踊作家協会会員

尾上墨雪 雑賀淑子 西川扇蔵 片岡通人 新井雅子 江原朋子 渡辺元 真島恵理 安達哲治
ケイタケイ 加藤みや子 武元賀寿子 石黒節子 加藤きよ子 二見一幸 ユキスガヌマ 森嘉子
執行伸宜 平多実千子 高瀬多佳子 杉原ともじ 吾妻寛穂 米山ママコ 藤蔭静枝 萩谷京子
花柳面 大谷けい子 三好直美 石川須妹子 一色真由美 鈴木恵子 山元美代子 アキオキムラ
玉田弘子 花柳翫一 さとうみどり 藤原悦子 田中いづみ すゞきさよこ

【チケットのお申込み・

お問い合わせ】

舞踊作家協会

TEL 03-3268-3183

FAX 03-3260-0871

ティアラこうとう

TEL 03-5624-3333

プロフィール



靖国神社にて
「春の宴」

西川古柳（にしかわこりゅう 八王子車人形）

五代目 西川古柳 八王子に160年以上続く国選択無形民俗文化財である伝統人形芝居『八王子車人形』の五代目家元。幼少より祖父（三代目）父（四代目）に指導を受け、23歳で文楽研修生として三人遣いの操作も学ぶ。

地元八王子での定期公演のほか、日本各地で公演。海外招聘も多く、ウニマ（国際人形劇連盟）の招待では旧ソビエト・ベルギー・インド・フランスなどの国際大会で公演。そのほかアメリカ建国200年祭公演・ベルギー音楽祭・リスボン国際人形劇フェスティバルなど、毎年2～3回の公演を行っている。

平成16年より八王子市観光大使、平成18年八王子市文化功労賞、平成29年八王子市より特別表彰。

友吉鶴心（ともよしかくしん 琵琶）

浅草生まれ。両祖父の偉業である薩摩琵琶の発展を志し、鶴田錦史に師事。祖父の名跡を世襲。

文部大臣賞、NHK会長賞など受賞。

NHKT.V.の琵琶指導、出演と共に、浅草のギャラリーエフ、その他日本全国でコンサート活動を続けている。

櫻木枝里子（さくらぎえりこ ピアノ）

東京生まれ。桐朋学園大学音楽学部演奏学科（ピアノ専攻）卒業後、1995～97年フランスに留学。パリ・エコールノルマル音楽院にて高等ディプロム取得（満場一致首席）。

パリ及びパリ近郊で行ったりサイタルは地元紙の好評を得た。帰国後はソロ、室内楽、歌曲の伴奏やバレエとのコラボレーションやオーケストラ演奏など、多岐にわたり演奏活動を行っている。

ラモー、クーブランなどのバロックから、ドビュッシーやラヴェル、メシアンなど20世紀作品まで、特にフランス音楽に力を入れている。これまでに、ピアノを塩澤とし子、金澤希伊子、ジェルメーヌ・ムニエ、ルステム・サイトクロフの各氏に、室内楽を藤井一興、清水高師の各氏に師事。

1998年より母校の慶應義塾女子高等学校で芸術科講師。

※ご来場の際はマスクのご着用を
お願い致します。

主催：舞踊作家協会

共催：公益財団法人江東区文化コミュニティ財団

スタッフ 照明＝関淳子、松村浩美

舞台監督＝嵯峨敏史、上田菜月

舞踊作家協会 会長 新井雅子

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂2-20

TEL03-3268-3183/FAX03-3260-0871

サイガバレエ

1961年、日仏学院の御好意で、学院内の一部屋を提供してもらい、スタート。国際色豊かな生徒が集り、ユニークなバレエ研究所と評判になり、舞台、テレビ、その他様々な分野で活動始める。

1977年、英国大使館文化部の尽力で初の海外公演。

(スコットランド、ロンドン、スイス等)

以後、スコットランド、アバディーン市のフェスティバルには、4年毎に参加。フェスティバルに貢献した事を表彰され、フェスティバルの永久会員になる。

ティアラこうとうの連続公演においても、たく山の創作バレエを発表している。

森嘉子（もりよしこ）

1939年 故彭城秀子舞踊研究所入門。

1954年 マーサ・グラハム高弟、チャナック女史にモダンダンスを師事。後にカルメン・シターロメロ女史に出会いアフロダンスの指導を受け、本格的にアフロダンスの世界に進む。1981年 アルヴィンエイリーダ

ンスカンパニーにてモダンダンスの指導を受ける。

1952年 第9回東京新聞社主催全国舞踊コンクール創作部門第1位 文部大臣賞、彭城秀子作品「自画像」共演。

1998年 六本木俳優座劇場にて"マイロード Vol.1"ソロ公演。同公演により第30回舞踊批評家協会賞を受賞。

玉田弘子（たまだひろこ）

1946年 四日市生れ。子供時代～現在まで(途中9年休憩)現代舞踊を奥田敏子、三条万里子氏に師事。生活一茶トラ猫(15才、8才)+74才、3人の男と共に。いつまでも全然しゃべれない仏語の本を(初級)読むのが日課の1ツ。(一社)現代舞踊協会中部支部、名古屋洋舞家協議会 etc 所属。

工藤史皓（くどうふみあき）

・現代舞踊・コンテンポラリーダンス

・CGデザイナー・モーションキャプチャーエンジニア

・現代舞踊協会会員

・すゞきさよこダンスグループ

2歳8ヶ月より踊り初める

尾上墨雪（おのえぼくせつ）

(公社)日本舞踊協会常任理事 / (公社)芸団協理事 / (独法)日本芸術文化振興会評議委員

1943年 東京生まれ。初代尾上菊之丞に師事、没後六世藤間勘十郎に師事。

1964年 尾上流三代家元を継承し、二代尾上菊之丞を襲名。「創造の無い伝統は無い」という持論を掲げ、自主公演「冬夏会」を中心に独自の創作活動を展開。長年に渡り日本舞踊協会の理事として舞踊界の発展に尽力し、東京新橋と京都先斗町を指導し牽引してきた。

2011年 尾上流家元尾上菊之丞を長男青楓に継承させると同時に尾上墨雪と改名。歌舞伎・新派・宝塚・万博・花街舞踊の「東をどり」「鴨川をどり」等の演出・振付指導を行い、海外公演も数多く出演。

日本芸術院賞、松尾芸能賞、舞踊批評家協会賞、舞踊芸術賞などを受賞。

ティアラこうとう

〒135-0002
東京都江東区住吉 2-28-36
TEL.03-3635-5500
FAX.03-3635-5547

- 東京メトロ半蔵門線、都営新宿線
「住吉」駅A4出口から徒歩4分
- 都バス
〔東22〕 錦糸町～東陽町(東京駅北口)
「住吉駅前」下車徒歩5分
- 〔錦11〕 錦糸町～築地駅
「住吉駅前」下車徒歩5分
- 〔錦28甲〕 錦糸町～東大島駅
「江東公会堂前」下車徒歩1分

* 駐車場は収容台数に限りがありますので、他の交通機関をご利用いただくようお願いいたします。